



昔のあそび開催

一月二十二日(土)に今年度最後の昔のあそび「折り紙ではしぶくろを作ろう」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症対策として、定員を十名までとし、当日は、消毒・検温とマスク着用を徹底して行われました。

最初に見本の「はしぶくろ」を一通り見てもらってから、簡単な折り方のものから作っていました。

簡単な「はしぶくろ」でも、創作すき紙などの折り紙を使って折ると、とてもすてきな「はしぶくろ」に出来上がりしました。

ハートの「はしぶくろ」は、少し難しかったようですが、可愛い!と大人気。

報資料館の里鶴夕

令和4年2月10日

第 134号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

職員が作った、折り方の説明書もあったので、親子で一生懸命取り組んで、マスターしていました。

その他、「鶴のはしぶくろ」もあり、好きな折り紙を選んで折っていました。

一般参加で友の会会員の安部晶子さんにもお手伝い頂き、お土産として、参加者の皆さんに折り紙で作った「節分の鬼飾り」がプレゼントされました。く疫病退散!く



エフエムNCV おきたまGO! 取材・放送

NCVのラジオ番組に「enjoy!おきたま倶楽部」のコーナーがあり、この度「民話会ゆうづる」の会長と副会長が取材を受け、その収録が、一月二十五日(火)、夕鶴の里で行われました。

最初に、民話会ゆうづるの白岩けい子会長より、民話会ゆうづるについて、南陽市には数多くの民話が残されていて、それらの民話を後世に伝えるために、平成三年、地域住民が語り部となつて「民話会ゆうづる」の組織を立ち上げた。現在、男性一名を含む十三名の語り部が、それぞれオンラインワンの語りをして

いるなどと紹介されました。次に、松橋信子副会長より現在の活動について、夕鶴の里を活動拠点として全国各地から訪れる来館者に年間三〇〇回ほどの語りを始め、市内外の保育園、幼稚園、小中学校や、福祉施設、地域のサロンなどに出向いての

口演など民話による交流の拡大と、民話の普及に努めているなどと紹介されました。

また、大竹和子副会長からは、南陽市に伝わる伝説民話について「鶴の恩返し」「白竜湖の琴の音」「真心の一文銭」「妹背の松」「大銀杏と与平エドの」「蛙石」「蛇橋」などの他、数多くの民話、昔話が伝わっているなどが話されました。

民話を語って、忘れられない出来事や、思い出深い出来事も紹介され、最後に、各自の好きな民話を語って頂きました。

この内容は、二月一日と八日、九時三十分からの「enjoy!おきたま倶楽部」で放送されました。



収録の様子!
(語り部ホールにて)

仙台

専門学校生来館!



一月二十七日(木)、仙台の専門学校、「仙台デザイン&テクノロジ専門学校」と「仙台カフェ・パティシエ&調理専門学校」の学生十九名と講師、教務スタッフが来館されました。

当日は、観光四季南陽プロジェクト、南陽市視察の一環として、南陽市役所商工観光課の職員の案内で来館。高橋大吉館長が夕鶴の里の説明をした後、民話を数話披露しました。

企画展

夕鶴のひな飾り展

開催中

二月一日(火)より企画展「夕鶴のひな飾り展」を開催しています。

昨年初めての開催でしたが、大好評で、「また来年も開催して欲しい!」という声が多数あり、今年も開催することになりました。

三人の製作者の手によって作られたひな飾りを是非ご覧ください。

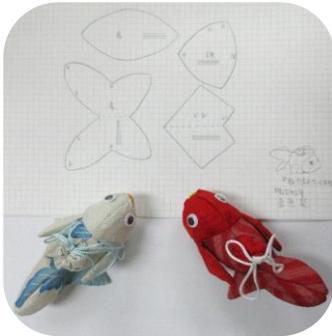
展示は五月八日(日)までです。



展示の見どころ

今年の展示では、明治時代の裁縫の教科書である『裁縫おさいくもの』、『続裁縫おさいくもの』を参考に当時のお細工物を製作していただきました。

明治時代の女学生はどのような裁縫の勉強をしていたのか作品を通してご覧いただけます。



金魚袋 (琴爪入)



うぐいす袋

啓翁桜

一月二十七日に、漆山郵便局様より、啓翁桜をいただきました。

毎年この時期になると頂いており、一足早い春の訪れを感じています。

本当にありがとうございます。



お願い!

年末から一月中の降雪で、夕鶴の里駐車場が狭くなっております。

来館者の駐車場確保の為、無断駐車はお控えください。

やむを得ず、駐車される場合は、ご連絡下さい。

また、通り抜けする場合は、充分にお気を付け下さいますようお願い致します。

